企画委員会

八尾市東部、心合寺山古墳を中心とする一帯は、 6世紀(古墳時代後期)に生駒西麓に造られた300基以上の 横穴式石室墳が集中する地域で、「高安千塚」ともいわれます。 この時代は物部守屋や聖徳太子、蘇我馬子が 歴史に登場する時代と重なります。高安山山麓の自然と歴史を 楽しみながらのハイキングコース、 密にならないよう班毎に時間差をつけて歩くことにしましょう。

(少しアップダウンがあり)



記

1. 実施時期: 2021年6月25日(金): 2. 集合場所: 近鉄服部川駅(近くの公園)

3. 集合時間: 〈A グループ〉 10時15分 1班·2班、 〈B グループ〉 **11時** 3班・4班

4. 雨天対応: 前日17時のNHKTV明日の天気予報で「大阪」の午前または午後の

降水確率が50%以上で中止

5. 案内 : NPO法人八尾市観光ボランティアガイドの会

6. 出発時間: 1班・10:20 2班・10:35 3班・11:00 4班・11:15 班ごとに出発

7. 行程 : 近鉄服部川駅 (公園)スタート → 佐麻多度神社→ 抜塚 → 芝塚古墳→

玉祖神社 (昼食)12時~13時→ 向山古墳・向山瓦窯跡 →

心合寺山古墳 → 歴史民俗博物館 → 近鉄服部川(班別解散)15 時前後

約5.5Km 5時間

8. 費用 : ・ ガイド料・・¥200/1 人 ・ 歴史民俗資料館 ¥220 科負担

9. アクセス

鶴橋 9:39(近鉄大阪線高安行) → 9:58 河内山本 10:09 (近鉄信貴線)→10:12 服部川

→ 10:22 " 10:25 10:03 **→10:28**

→ 10:47 " 10:50 10:27 →10:53

10. 持物: マスク、お弁当、飲料、雨具、資料等

※ 参加人数把握のため 参加·不参加を5月17日(月)までに、各班企画幹事に連絡願います。

八尾高安古墳群 資料

心合寺山古墳(しおんじやまこふん)

心合寺山古墳は、古墳時代中期、5世紀前半につくられた中河内最大の前方後円墳で、当時この地域一帯を治めた豪族の墓と考えられる。

墳丘長は約 160m あり、史跡指定範囲の総面積は約 30,000 ㎡。 墳丘は三段築成で、くびれ部西側に「造り出し(つくりだし)」があり、 平坦面には円筒埴輪や朝顔型埴輪などが立て並べられ、斜面には 葺石(ふきいし)が葺かれていた。埋葬施設は、後円部に 3 つの「粘土槨(ねんどかく)」、前方部の「方形壇(ほうけいだん)」 の下に木棺があった。後円部の粘土槨のひとつである西槨から、 甲冑、鳳鏡(ほうきょう)、刀剣類などの副葬品が出土している。





周辺には、西ノ山古墳や花岡山古墳など古墳時代前期から中期にかけての古墳が造営されており、 心合寺山古墳を含むこれらを総称して「楽音寺・大竹古墳群」と呼んでいる。

向山古墳と向山瓦窯跡(むかいやまこふん と むかいやまがようあと)

古墳時代の前期に属し、独立丘陵を利用して設けられた西向きの前方後円墳である。墳丘は早くから開墾されて植木畑となり、後円部は一部が採土されている。

後円部南側の池畔に平安時代末期の窯跡があり、いまも窯の一部が遺っている。ここで焼かれた瓦は宇治の平等院、京都の醍醐寺をはじめ近畿各地に運ばれで使用された。当地西方約1キロの池島・福万寺遺跡周辺は、摂関家の荘園で、のちに平等院領であった「玉櫛庄(たまくしのしょう)」があり、平等院等の維持管理に必要な瓦を供給したようである。

佐麻多度神社(さまたどじんじゃ)

式内社で当地山畑の産土神。 山畑神社はこの社の末社。この付近から素焼の陶棺が出土、 今は東京博物館に保管されている。

また境内に力石(165キログラム)があり、明治初期にはこの石をもちあげて力くらべを楽しんだという 記録がある。農村の青年たちの娯楽であり、また重さを知る体験にも役立ったという。

玉祖神社(たまのおやじんじゃ)

式内社で玉祖明神、高安明神ともいい高安十一カ村の氏神。和銅三(710)年周防国から分霊を 勧請したもので、祭神は櫛明玉命。この地に玉造部の人々が住んでいたので、その祖神を 祀ったものであろう。 寺宝も多く、北条時政の制札(重文)男女神像(府、重、美)樟樹(府天然記念物) 豊臣秀頼寄進の石灯篭などがある。 神社の北方を東西に十三街道が走り、大阪の玉造に通じ、玉祖、 玉造りの地名からこの街道のもつ意義は大きい。

